

総社市 都市計画マスタープラン 概要版

都市計画マスタープランの概要

● 都市計画マスタープランとは

都市計画マスタープランとは、本市の都市計画の総合的な指針として、土地利用のあり方や道路・公園・下水道等の都市施設の整備をはじめ、市全体やふだん暮らしている地域をどのようにしたいかを考え、おおむね10年後のまちの将来像を描くものです。

● 目標年次

平成37（2025）年

● 人口フレーム（将来人口）

69,000人

都市づくりの理念と将来都市像

● 目指すべき将来のすがた

岡山・倉敷に並ぶ新都心 総社 ～全国屈指の福祉文化先駆都市～

● 都市づくりのテーマ及び基本目標

既存の都市機能の集積を活かしながら、まちなかの人口密度の維持と計画的かつ適正に都市機能が集積・配置された集約型都市構造を実現し、本市固有の伝統文化や豊かな自然環境・歴史的景観、産業や地域コミュニティを地域資源として活かしながら、活力ある都市づくりを進めます。

テーマ 地域・文化・自然が共生する、効率的で安全・快適な活力ある生活交流都市

基本目標

（1）将来の人口減少と超高齢社会に対応した都市づくり

- ①まちなかの人口密度が一定に維持される都市づくり
- ②中枢的な拠点から地域の生活維持に必要な拠点まで多様な暮らしを支える重層的な都市づくり
- ③産業振興により人口定着・定住を促進する活力ある都市づくり
- ④公共交通を介して地域が連携する多極ネットワーク型の都市づくり
- ⑤都市施設の効率的な維持管理・長寿命化の推進による持続可能な都市づくり

（2）誰もが安全・安心に暮らせる都市づくり

（3）地域資源の活用と環境負荷低減による魅力的な都市づくり

（4）市民との協働，広域連携による都市づくり

● 将来都市構造

都市づくりの基本となる将来都市構造（将来のまちの骨格のイメージ）は、土地の状態や用途により面的な広がりを持つ「エリア」、都市活動や市民生活の中心となる点的な場所や地区である「拠点」、及び道路や鉄道、河川など線的なつながりを形成する「軸」により構成されます。

